

15年後の私

高校時代は、社会人となる前の準備段階であり、望ましい勤労観や職業観を身に付けるとともに進路意識を高める時期でもある。これまでの自分や現在の自分を見つめ直し、将来の自分の在り方生き方を考えることが大切である。

生徒に15年後の自分の姿を想像させることは、社会における自分の立場や役割を考えさせることにつながり、ひいては、今をどのように過ごせばよいかを考えさせることになる。このことを通して、生徒の学ぶ意欲、働くことへの意識を向上させる。



《ワークシート》

I 次の1から6までの質問に、全て15年後のあなた（ 歳）が回答してください。

I-1 あなたは結婚していますか。

- ① はい(既婚) ② いいえ(未婚)

I-2 I-1で①と回答した人は、子どもは何人いますか。

()人

I-3 あなたの就業形態は次のどれに当たりますか。

- ① 正規社員(民間企業の正社員・公務員など)
② 非正規社員(契約社員・パート・アルバイトなど)
③ 自営自由業(自営業主・家族従事者など)
④ 無職(専業主婦・専業主夫など)

I-4 次のことをする1日当たりの時間はどれくらいですか。

- (1) テレビを見る時間は _____時間____分
(2) インターネットをする時間 _____時間____分
(3) 家族との会話時間(電話を含む) _____時間____分
(4) 睡眠時間 _____時間____分
(5) 仕事時間 _____時間____分

I-5 ふだんの生活で次のことをどの程度しますか。

A よくある B ときどきある C あまりない D 全くない

で回答してください。

- (1) 掃除や洗濯をする ()
(2) 趣味やスポーツをする ()
(3) 料理をする ()
(4) デパートなどで買い物をする ()
(5) 友だちと会う ()
(6) 読書をする(マンガや雑誌を除く) ()
(7) 自分の能力を高めるための勉強をする ()
(8) ボランティア活動をする ()

I-6 現在の生活についてどう思っていますか。

A とてもそう思う B ややそう思う C あまりそう思わない
D 全くそう思わない

で回答してください。

- (1) 経済的なゆとりがある ()
(2) 充実した余暇を送っている ()
(3) 時間的なゆとりがある ()
(4) 健康に自信がある ()
(5) 理想に近い生活を送っている ()
(6) これから先の生活が楽しみだ ()

II 7、8の質問には、現在のあなたが回答してください。

II-7 仕事をする上で重視することを次の中から3つ選んでください。

- ① 人と接する機会が多いこと
- ② 休みが多いこと
- ③ 好きな時間に働けること
- ④ 給料が高いこと
- ⑤ 自分のやりたい仕事であること
- ⑥ 地理的条件がよいこと
- ⑦ 資格を生かせること
- ⑧ 働く会社の知名度が高いこと
- ⑨ 職場の雰囲気が良いこと
- ⑩ 長期間安定して働けること
- ⑪ 育児と両立できること
- ⑫ 働く会社に将来性があること
- ⑬ 国際的に働けること
- ⑭ 人や社会から尊敬されること
- ⑮ 人や社会の役に立つこと
- ⑯ 将来独立して事業ができること
- ⑰ 自分のやりたいこと(趣味など)と両立できること
- ⑱ 自分の個性や能力が生かせること
- ⑲ 仕事を通して資格や技術が身に付けられること
- ⑳ その他 ()

回答欄

--	--	--

II-8 あなたに備わっている力を

A とてもある B ややある C あまりない D 全くない

で回答してください。

- (1) 物事に進んで取り組む力 ()
- (2) 他人に働きかけ巻き込む力 ()
- (3) 目的を設定し確実に行動する力 ()
- (4) 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 ()
- (5) 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 ()
- (6) 新しい価値を生み出す力 ()
- (7) 自分の意見をわかりやすく伝える力 ()
- (8) 相手の意見を丁寧に聴く力 ()
- (9) 意見の違いや立場の違いを理解する力 ()
- (10) 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 ()
- (11) 社会のルールや人との約束を守る力 ()
- (12) ストレスの発生源に対応する力 ()

【参考】

- ・ I-1～6及びII-7は、「若者の仕事生活実態調査報告書」((株) ベネッセコーポレーション 2006年) をもとに作成
- ・ II-8は、「企業の「求める人材像」調査2007」(経済産業省 2007年) をもとに作成

Ⅲ 参考資料をもとに、自分の回答を考察してみましょう。（表の右の欄には参考資料の数値を記入する。）

I-4	あなたの回答	就業形態： _____ 性別： _____ 未婚・既婚： _____
	(1) テレビを見る時間	_____時間_____分
	(2) インターネットをする時間	_____時間_____分
	(3) 家族との会話時間(電話を含む)	_____時間_____分
	(4) 睡眠時間	_____時間_____分
	(5) 仕事時間	_____時間_____分

I-5	あなたの回答	性別： _____ 未婚・既婚： _____ あると答えた人の%
	(1) 掃除や洗濯をする	() %
	(2) 趣味やスポーツをする	() %
	(3) 料理をする	() %
	(4) デパートなどで買い物をする	() %
	(5) 友だちと会う	() %
	(6) 読書をする(マンガや雑誌を除く)	() %
	(7) 自分の能力を高めるための勉強をする	() %
	(8) ボランティア活動をする	() %

I-6	あなたの回答	就業形態： _____ 未婚・既婚： _____ あると答えた人の%	
		就業形態別	未婚・既婚別
	(1) 経済的なゆとりがある	() %	() %
	(2) 充実した余暇を送っている	() %	() %
	(3) 時間的なゆとりがある	() %	() %
	(4) 健康に自信がある	() %	() %
	(5) 理想に近い生活を送っている	() %	() %
(6) これから先の生活が楽しみだ	() %	() %	

II-7	あなたの回答	重視することの%
	()	() %
	仕事をする上で重視することは	() %
	()	() %

Ⅱ-8	あなたの回答	企業が若手社員に求める力	若手社員に不足が見られる力
(1) 物事に進んで取り組む力	()	68.3 %	48.0 %
(2) 他人に働きかけ巻き込む力	()	47.8 %	37.6 %
(3) 目的を設定し確実に行動する力	()	69.9 %	31.3 %
(4) 現状を分析し目的や課題を明らかにする力	()	65.4 %	44.8 %
(5) 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	()	64.0 %	33.2 %
(6) 新しい価値を生み出す力	()	56.6 %	44.1 %
(7) 自分の意見をわかりやすく伝える力	()	53.3 %	32.4 %
(8) 相手の意見を丁寧に聴く力	()	53.8 %	18.8 %
(9) 意見の違いや立場の違いを理解する力	()	58.5 %	26.1 %
(10) 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	()	62.3 %	29.1 %
(11) 社会のルールや人との約束を守る力	()	45.2 %	12.7 %
(12) ストレスの発生源に対応する力	()	45.9 %	19.1 %

1 対象と実施する時期

第1学年後半～第2学年前半

2 展開例（2時間）

(1) 1時間目

	学習活動	指導上の留意点	参考
導入	本時の主題名（テーマ名）を板書し、意義・注意事項の説明を行う。		〈ねらいの説明〉
展開	<p>1 生活と仕事についてのアンケートに回答する。</p> <p>2 自分の回答と参考資料を比較し、特徴的な点について考察する。</p> <p>3 6～8名の班に分かれ、考察した点について発表し合う。</p> <p>4 特徴的なものを一つ取り上げ、班のテーマとして決める。</p>	<p>○15年後の自分の生活や仕事の様子を、理想ではなく現実的な観点から想像してアンケートに回答させる。</p> <p>○他の生徒の回答を冷やかしたり、否定したりすることのないように注意する。</p>	参考資料

(2) 2 時間目

	学習活動	指導上の留意点	参考
展開	前時に決めたテーマについて、班で話し合いをする。	○分析させ、考えを深めさせる。	
終結	班ごとに話し合ったテーマについて発表する。	○他の班の発表内容について相違点があれば、別の班に発表させる。 ○学習内容を振り返り、学ぶことと働くことの意義について考えさせる。	〈まとめ〉

※参考資料は、別添のCD-Rにあります。

3 留意事項

1 時間で行う場合は、グループでの考察を省略し、個人での考察までとする。

〈ねらいの説明例〉

この時間は、皆さんにそれぞれの「15年後の私」を想像してもらいます。15年後といえば、30歳を過ぎています。どんな仕事に就いていて、どこに住んでいるのか、結婚しているのかいないのか、家族は何人か。両親や兄弟、親戚などを参考にして、できるだけ現実的に想像してみてください。どうしても思い浮かばない人は、自分の理想でもかまいません。そして、その年代の人たちに実際に行ったアンケート結果などと比較して、「将来このように在りたいという自分」を思い描き、これまでの自分や現在の自分を見つめ直してみましよう。

〈まとめの例〉

「15年後の私」を想像するのはどうでしたか。このように現実的に想像する機会はなかなかないと思います。単なる夢ではなく、現実の姿を想像する初めての経験だったという人も多いのではないのでしょうか。

また、参考資料を見て、皆さんはどのように感じましたか。現在の自分が思ってもみないことが重視されていた人もいるでしょう。

将来の自分は現在の自分なしには存在しません。思い描いた理想とする自分の在り方を実現するために、今からどのようなことを心がけていけばいいのか、ヒントが得られたのではないのでしょうか。

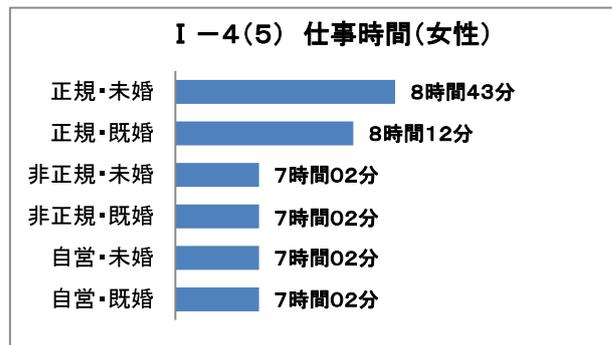
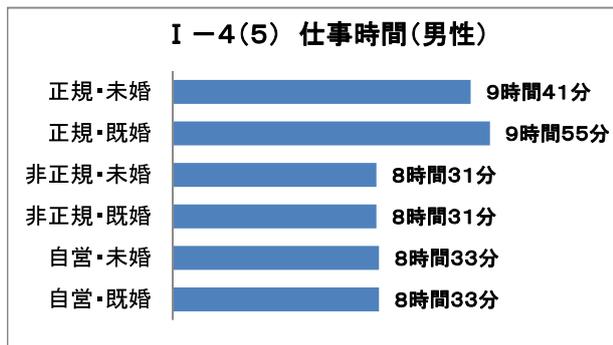
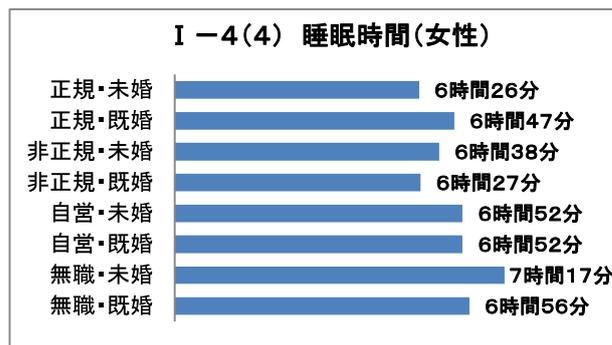
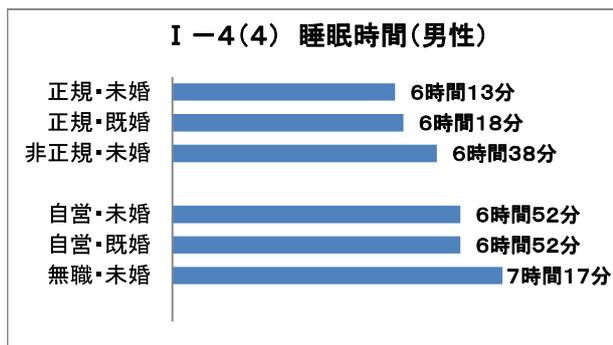
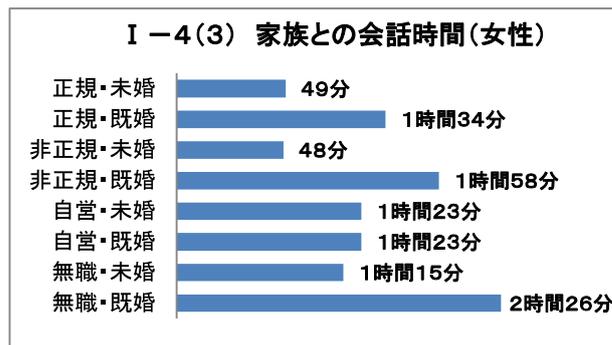
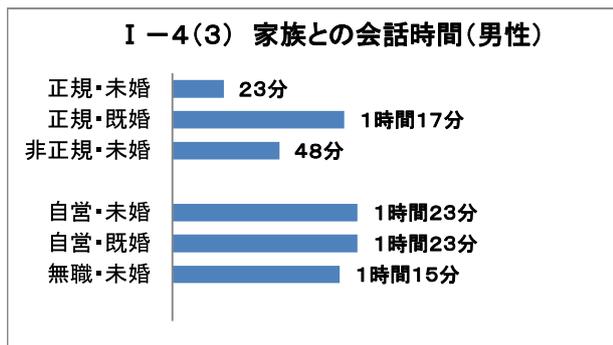
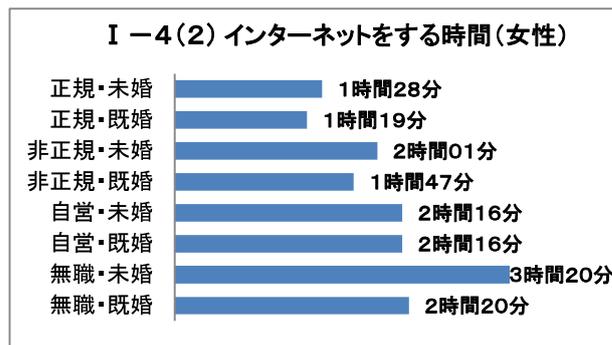
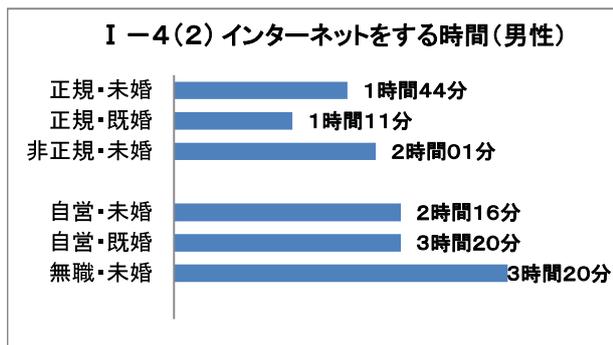
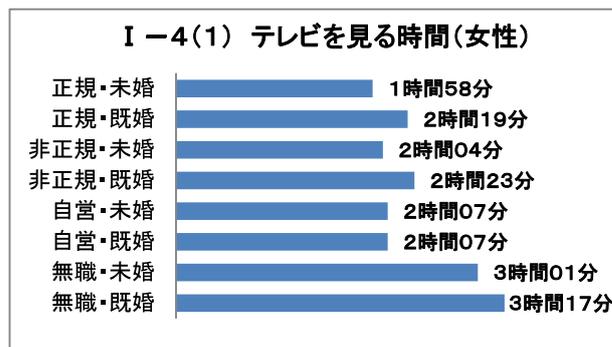
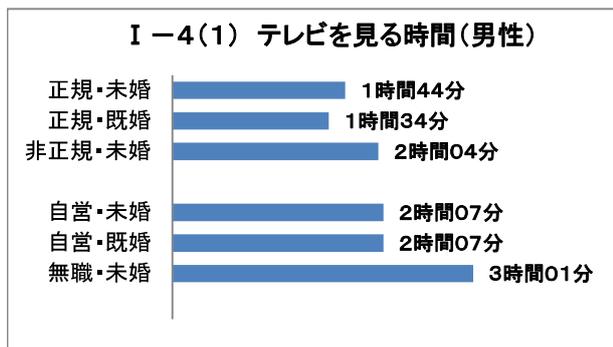
【参考資料】

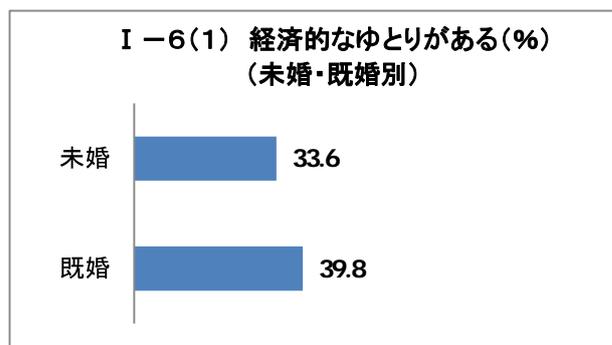
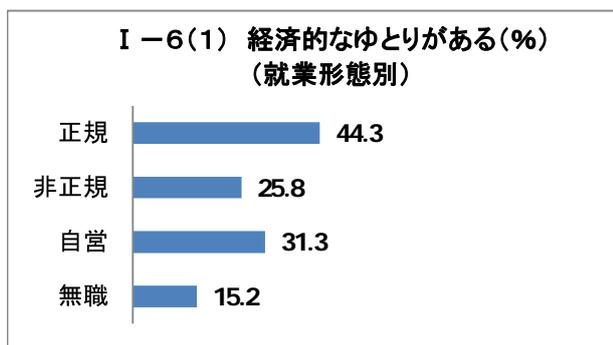
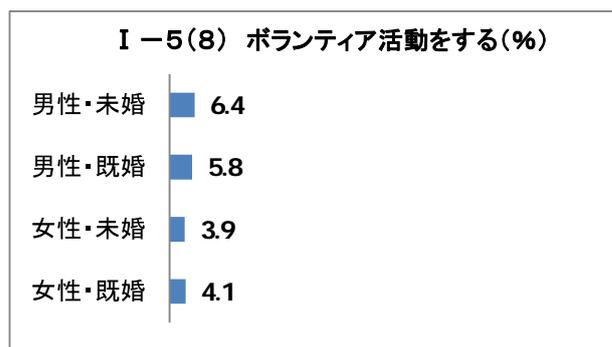
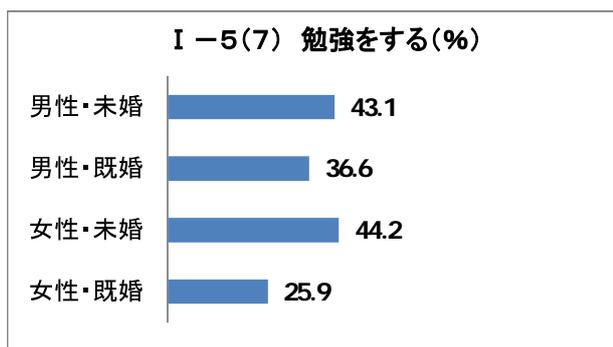
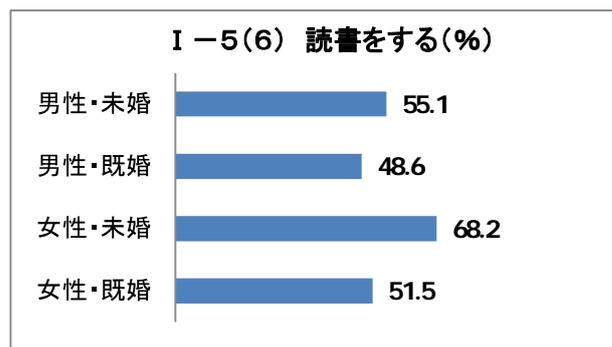
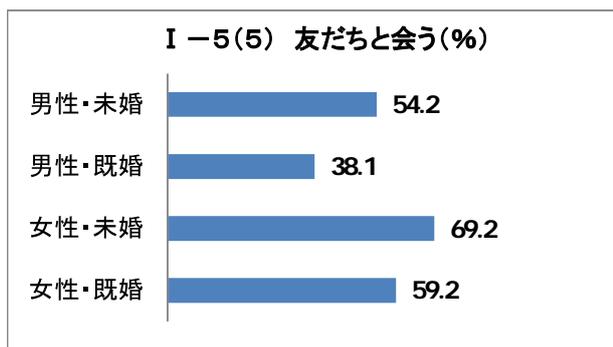
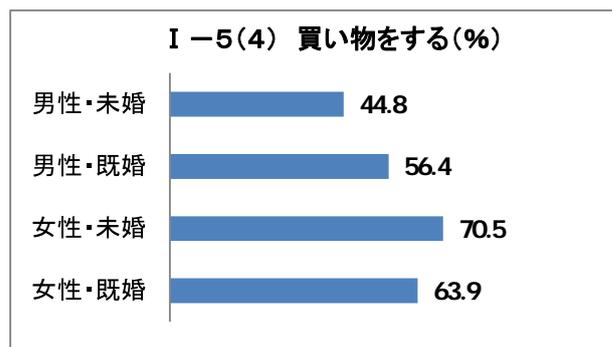
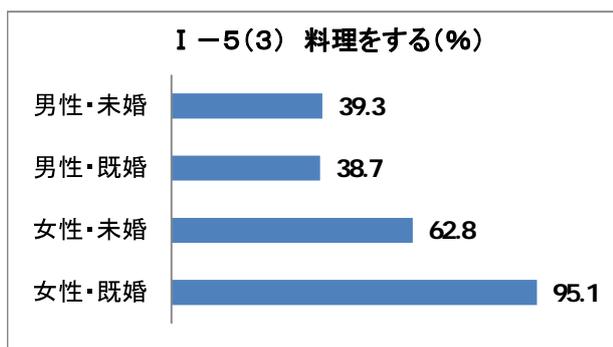
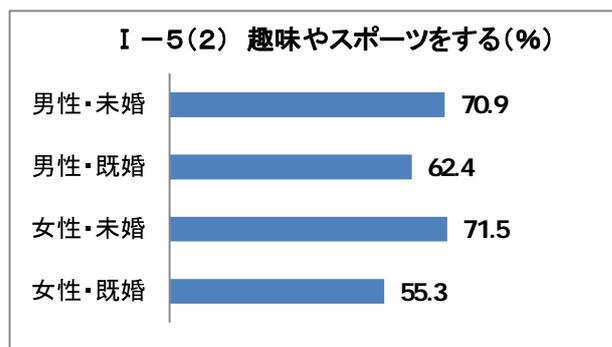
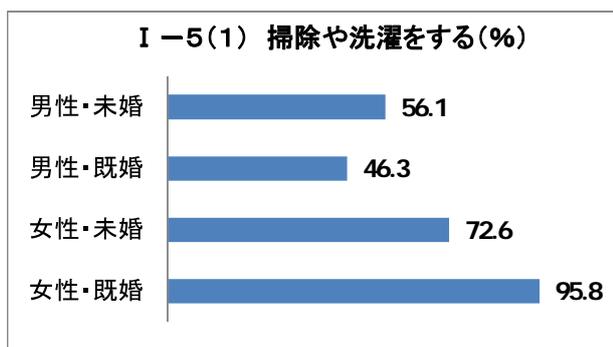
「若者の仕事生活実態調査報告書」 株式会社ベネッセコーポレーション 2006年

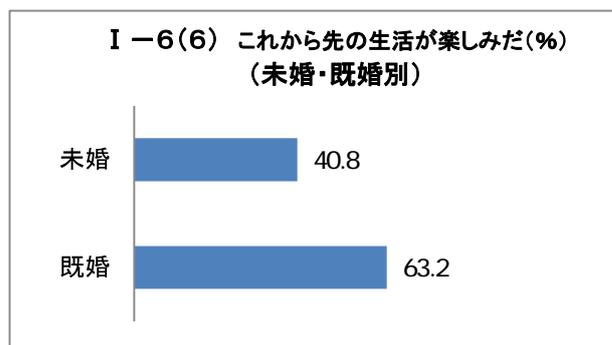
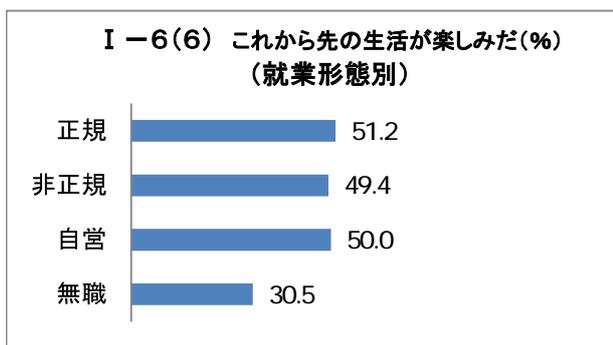
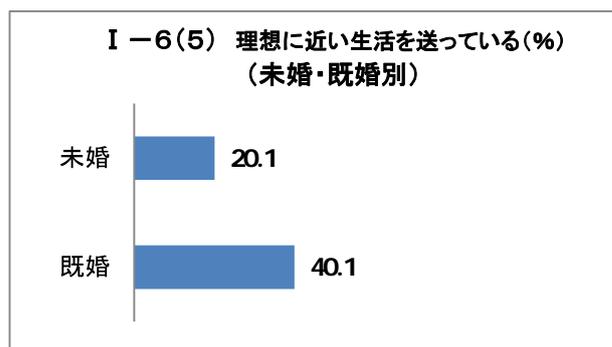
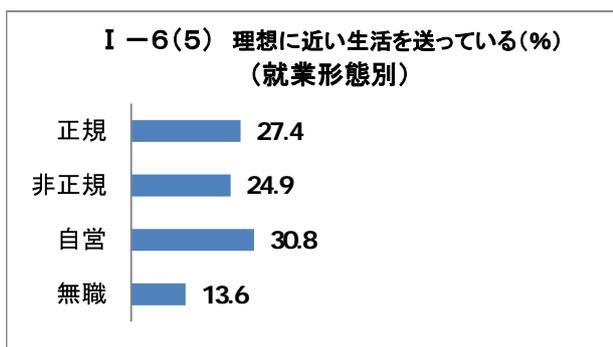
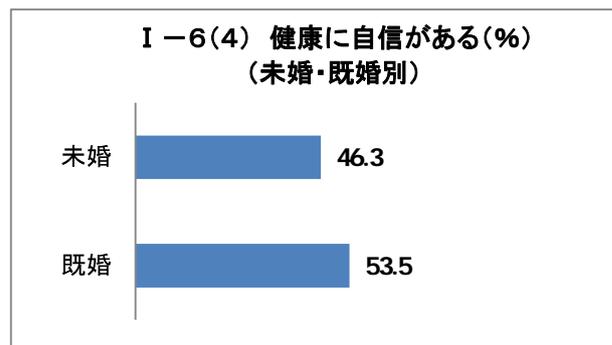
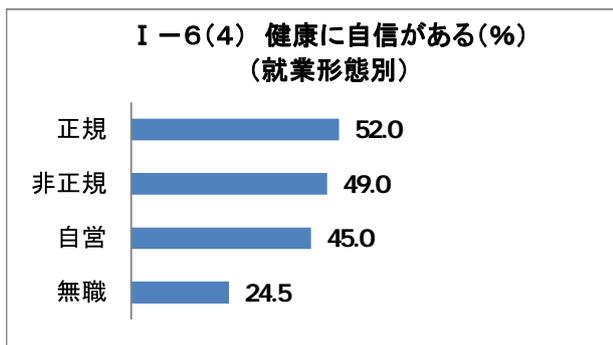
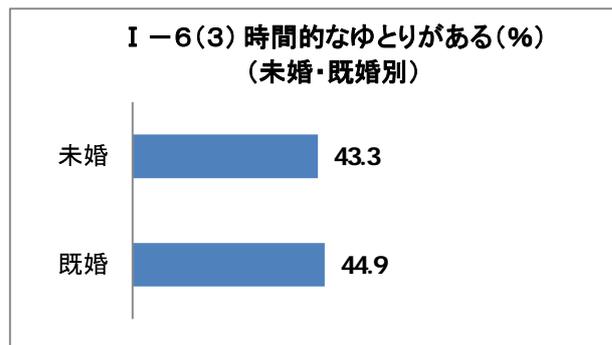
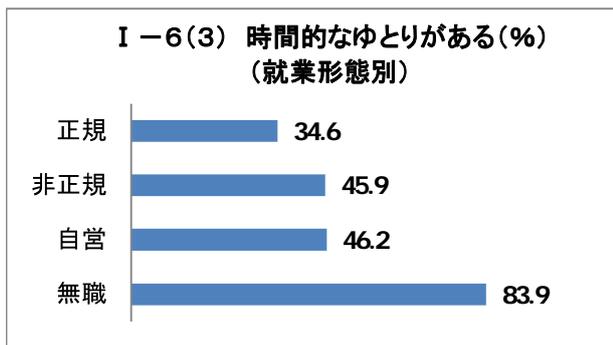
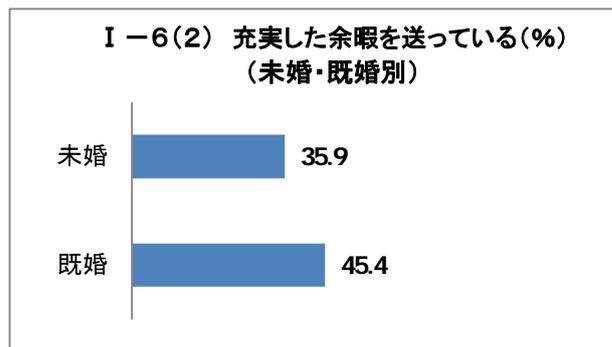
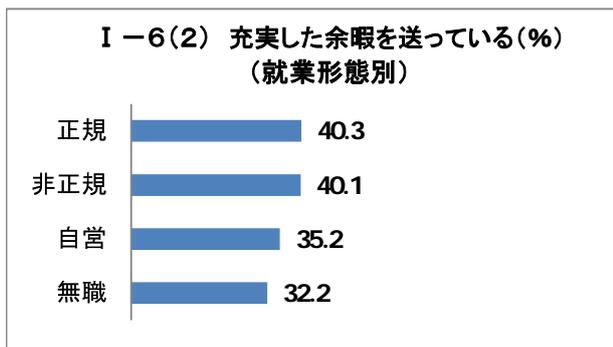
「企業の「求める人材像」調査2007」 経済産業省 2007年

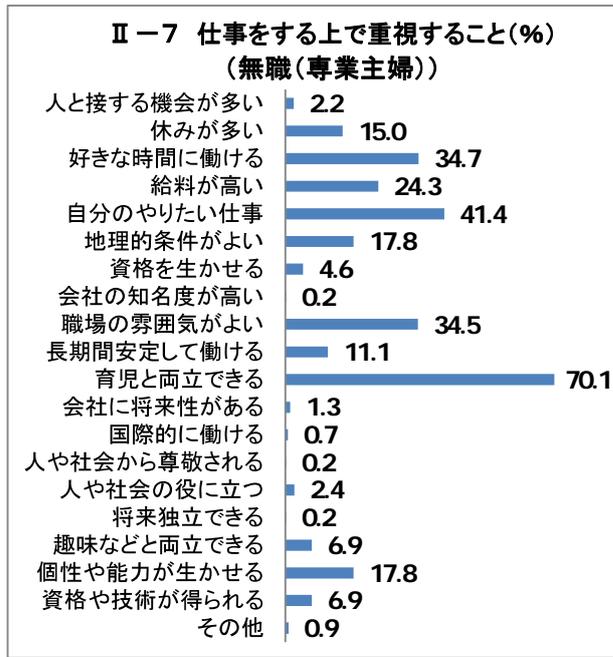
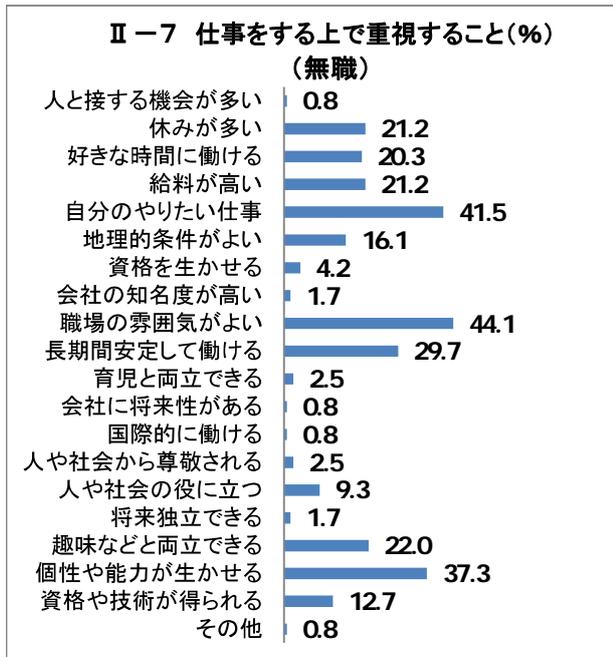
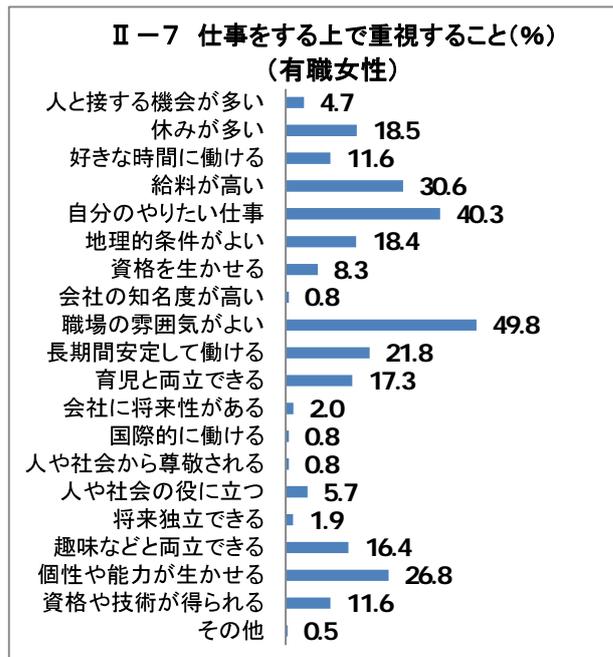
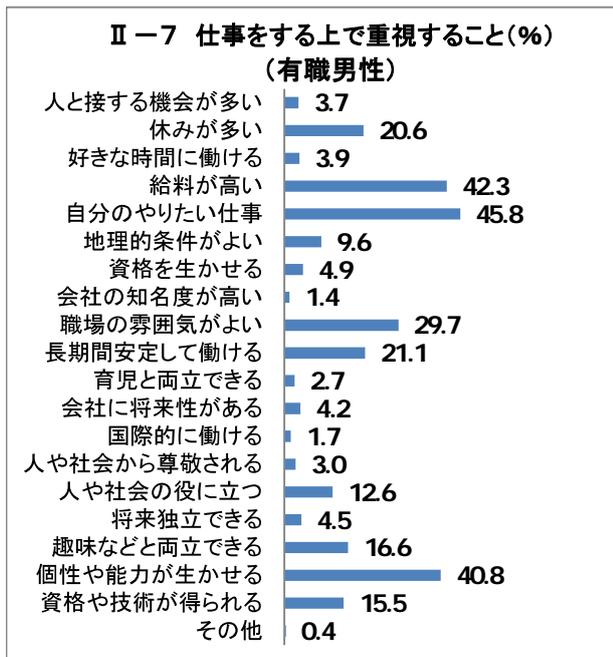
参考資料

若者の仕事生活実態調査報告書（(株)ベネッセコーポレーション 2006年）をもとに作成









企業の「求める人材像」調査2007（経済産業省 2007年）をもとに作成

